

# 令和7年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	○基礎学力の定着に向けたバランスのとれた教育課程を編成するとともに、多様な生徒の特性等に対応した質の高い学習指導に取り組み、生徒一人ひとりの学習機会の拡大を促進する。	①学力の3要素を踏まえた教育課程の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、「確かな学力」向上を図る。 ②全ての生徒の学習を保障し、生成 AI を含む ICT を活用した指導方法の工夫・改善を図る。 ③デジタル・ポートフォリオの作成を通して探究活動の充実を図り、成果発表機会を充実させる。また、コンテスト参加や国内外の教育機関との教育交流を目指す。	①生徒が身に付けるべき学力の3要素をどの単元でどのように指導するか教科で共有する。また、授業の振り返りを行い、生徒の意見を反映しながら学力向上を図る。 ②特別募集を含めたすべての生徒に対し、ICT を活用した分かりやすい、達成感のある授業を目指す。 ③ICT 教育を推進し、探究活動の成果を、外部の発表会や地域貢献等、さまざまな発表する機会に繋げる。	①学力の3要素を含んだ深い学びができる具体的な方策を「指導と評価」の計画の中で示すことができたか。 また、生徒の意見を反映しながら授業改善を図ることができたか。 ②生徒による授業評価の「できるようになったと実感する」の観点ですべての科目で 87% 以上の肯定的な回答が得られたか。 ③生徒の自己肯定感、プレゼンテーション能力、課題解決力の向上が図られたか。
2	生徒指導 支援	○自転車乗車マナーの向上を積極的に進め、交通安全に対する取組を組織的に推進する。 ○生徒の自主的・主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を培う活動内容の充実を図る。	①自転車乗車中のマナーの向上と事故防止のための取り組みを組織的に実施する。 ②生徒会活動を支援し、生徒が自主的・自発的に諸活動へ参加できるように取り組む。	①地域や外部機関と連携を図り、交通安全指導の充実を図る。 ②生徒会、各委員会及びボランティア活動を活性化するとともにHP等を活用し、部活動や生徒会本部の活動を発信することで更なる生徒会活動の充実を図る。	①意識の向上により事故件数や近隣からの苦情数が減少したか。 ②生徒会、各委員会、ボランティア活動へ生徒の自主的・自発的な参加を促すことができたか。また、HP等を活用することで中学生や地域住民が本校の生徒会活動に興味関心を持つことができたか。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導 支援	<p>○ 基礎力の定着とともに思考力・判断力・表現力の伸長を目指した探究活動を展開する。</p> <p>○ 生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導を展開し、多様性を意識し、共生社会の実現に向け行動する力を育む。</p>	<p>① 進路実現に向け、探究活動での思考力・判断力・表現力の伸長と、キャリア教育実践を充実させる。</p> <p>② 特別募集の生徒の進路決定に向け、教科「職業」の内容の充実を図る。面談ではSSW 等の専門職との連携を図り、進路決定に向けた支援の充実を図る</p>	<p>① 外部機関との連携を交えながら、各学年毎に、計画的にキャリア教育、探究活動を実践する。</p> <p>② 「職業」では自己理解やソーシャルスキルの向上を目指す。SSW などの専門職と連携し、面談内容の充実を図る。</p>	<p>① 生徒一人ひとりが意識を持って取り組む支援ができたか。目標や計画が可視化できたか。</p> <p>② 自己理解やソーシャルスキルの向上が図れたか。SSW と連携を図って、面談で生徒・保護者の理解を図れたか。</p>
4	地域等との協働	<p>○ OPTA との連携、地域、企業の教育力の活用などにより学校理解の促進を図るとともに、地域に開かれた地域とともにある安全・安心な学校づくりを進める。</p>	<p>① 積極的に地域との交流を行うことにより、本校の教育活動の充実を図る。</p>	<p>① 生徒会、PTA、自治会等が連携し、地域行事に積極的に参加・協力する。地域の要望を踏まえ「地域貢献デー」を全学年で実施する。</p> <p>② HP の更新や様々な方法で積極的に本校の情報発信を図る。</p>	<p>① 地域行事・催し物に積極的に参加できたか。また、地域のニーズを踏まえた「地域貢献デー」を実施できたか。</p> <p>② HP を中心に情報発信を積極的にできたか。新入生アンケートを参考にし、情報発信方法の改善ができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○ 生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を研究する。</p> <p>○ ワークライフバランスの実現を通じて、効果的な教育活動を行うため、働き方改革の取組を進める。</p>	<p>① 生徒及び職員が参加する「DIG 研修」や「防災訓練」を実施するとともに、災害時に学校としてどのような地域貢献ができるかを模索する。</p> <p>② 事故防止も意識しながら、働き方改革を推進し、働きやすい職場づくりに取り組む。</p>	<p>① 新入生及び新着任者「DIG 研修」を義務付け、生徒・職員の安全を確保する。災害時にどのような地域貢献が可能なかを学校運営協議会で検討する。</p> <p>② ノー残業デー設定や年次休暇の取得の推進により、ワークライフバランスを整える。</p> <p>② 不祥事防止職員研修会を定期的に実施する。</p>	<p>① 「DIG 研修」「防災訓練」を実践的に実施し、災害時の具体的な活動を明示できたか。</p> <p>② 時間外在校時間数を減らすことができたか。年次休暇取得数を増やすことができたか。</p> <p>② 風通しのよい職場づくりを心掛け、教育公務員としての意識向上が図れたか。</p>